

研究者情報

氏 名	庄子 佳吾 (Keigo Shoji)
役 職	講師
所 属	生活科学科福祉こども専攻
最 終 学 歴	東北大学 大学院教育学研究科 総合教育科学専攻 博士前期課程
学 位	修士 (教育学) (2018年3月 東北大学)
専 門 分 野	青少年教育、野外教育、子ども学、体験活動、生涯学習
所 属 学 会	日本野外教育学会 日本生涯教育学会 日本自然保育学会
主要担当科目	保育原理、教育原理、こどもと環境、保育内容 (環境) の指導法、 教職入門、道徳・特別活動・総合的な学習の時間、保育基礎演習、 幼稚園教育実習事前事後指導、特別研究 こどもの自然体験
研 究 課 題	・ 青少年の体験活動の促進要因と阻害要因に関する研究 ・ 保育者養成校における学生の体験活動の実態と意識に関する研究

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区 分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
著 書	教育原理 (シリーズ 生活事例からはじめる)	青踏社	2020年3月
論 文	保育者養成校における学生の体験活動に関する一考察：体験活動の実態と計量テキスト分析からの検討	盛岡大学短期大学部紀要第31巻 (通巻第44号)	2020年6月
論 文	保育者養成校における学生の体験活動の実態と体力の関連について：体験活動の多寡と計量テキスト分析からの検討	盛岡大学短期大学部紀要第31巻 (通巻第44号)	2020年6月
論 文	青少年教育施設における職員の専門性に関する予備的考察：専門職論と社会教育職員論からの検討	愛知文教女子短期大学研究紀要 41号	2020年3月
論 文	青少年教育施設におけるボランティア育成に関する研究：性格特性と社会人基本力の変容に着目して	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター紀要 (第6号)	2018年3月
論 文	幼児の生活力に注目した体験プログラムと基本的動作	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年	2017年3月

	の関連	教育研究センター紀要 (第5号)	
論	文	生活習慣向上長期キャンプの健康教育に対する有用性の検証	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター紀要(第4号) 2016年5月
論	文	リフレッシュ・キャンプが被災地児童の情動知能に及ぼす影響	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター紀要(第3号) 2014年10月
論	文	国立青少年教育振興機構におけるボランティア養成に関する研究: ヒューマンコミュニティ創成マインドに着目して	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター紀要(第2号) 2013年11月
論	文	主体性・社会性をはぐくむ幼児キャンプの実践報告: 「大自然に“いっぽ”～冬～」の実践をとおして	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター紀要(第2号) 2013年11月
論	文	青少年教育施設における長期集団宿泊活動が情動知能に及ぼす影響	独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター紀要(第2号) 2013年11月
競争的資金		青少年教育施設の家族参加型体験事業に対する保護者の期待に関する研究	公益財団法人マツダ財団 第35回(2019年度)マツダ財団研究助成ー青少年健全育成関係ー 2019年9月 -2022年3月

主な社会貢献活動

社会貢献活動	活動年月日
日本自然保育学会 理事	2021年3月・現在
「早寝早起き朝ごはん」全国協議会 「早寝早起き朝ごはん」の効果に関する調査研究会 委員	2021年3月・現在
愛知文教大学 教員免許状更新講習 講師	2020年8月
「早寝早起き朝ごはん」全国協議会 「早寝早起き朝ごはん」の効果に関する調査研究会 アドバイザー	2019年9月 -2021年3月
日本自然保育学会 第5回大会実行委員会 委員	2020年4月 -2021年2月

北京知脈国際教育 日本研修 講師	2019年8月
日本野外教育学会 第22回大会実行委員会 委員	2018年6月 - 2019年6月
宮城教育大学 「探究の対話 (p4c) と体験活動の相乗効果に関する研究」 研究協力者	2018年7月 - 2019年3月
宮城県栗原市立花山小学校協働教育推進委員会 委員	2013年4月 - 2015年3月